おやこであそぼう

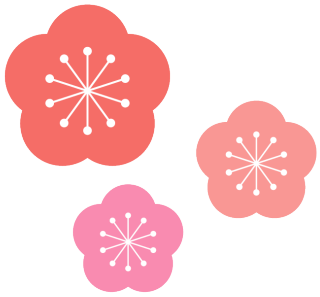
～　絵本と、わらべうたの時間　～

2019年2月20日

☆～　今月の絵本と紙芝居　～☆

おーくん おんぶ（福音館書店）作・絵：かたやまけん
ぴーぴー ばっくしまーす（福音館書店）作・絵：かたやまけん
いいな いいな（福音館書店）作・絵：かたやまけん
くまさん おっき（福音館書店）作・絵：かたやまけん
コッコさんのともだち（福音館書店）作・絵：かたやまけん
おおさむ こさむ（偕成社）作：松谷みよ子／絵：遠藤てるよ
おおさむ こさむ（福音館書店）作・絵：こいでやすこ
おおさむ こさむ（福音館書店）わらべうた／絵：瀬川康男
おひなまつりのちらしずし（福音館書店）作・絵：平野恵理子
もりのひなまつり（福音館書店）作・絵：こいでやすこ

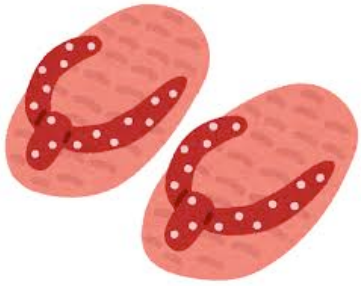
☆～　今月のうた　～☆



♪ひなさま こさま
ひなさま　こさま
やまかわ こえて
また らいねん おいで

♪春よ来い
春よ来い　早く来い
あるきはじめた　みいちゃんが
赤い鼻緒の　じょじょはいて
おんもへ出たいと　待っている

春よ来い　早く来い
おうちのまえの　桃の木の
つぼみもみんな　ふくらんで
はよ咲きたいと　待っている



♪おおさむ　こさむ
おおさむ　こさむ
山から小僧が泣いてきた
なんと言って泣いてきた
寒いといって泣いてきた

☆～　「ひなまつり」のお話　～☆

お日さまの光が、強さも明るさも増して来て、冬から春へのわくわくする気持ちも、増してくる季節になりました。
４月に向けて、３月は卒園、卒業、幼稚園入園、小学校入学と、子どもたちの成長の大きな第一歩を感じられる季節でもあります。

３月３日のひな祭りも、また子どもの成長、特に女の子の成長と幸せを願う行事です。
昔は上巳の節句と言って、中国では、ふりかかってくる悪いことを、川で手や足を洗い流し、浄めるという風習がありました。その風習が、日本に伝わりました。日本では、自分の代わりに、紙や草で作ったお人形を川に流し、お人形に悪いことを持ち去ってもらうように願うようになったのです。さらに時が下り、今度は、お人形を川に流さず、子どもたちがおままごとをする遊び道具の一つになりました。そこで、その子に災いがふりかかりませんように、元気に育ちますように、幸せでありますように、と親達が願いをこめて、ひな人形を飾るようになった、と言われています。
ひなまつりと言えば、やはりひな人形と同じくらい、華やかな食べ物の数々があります。

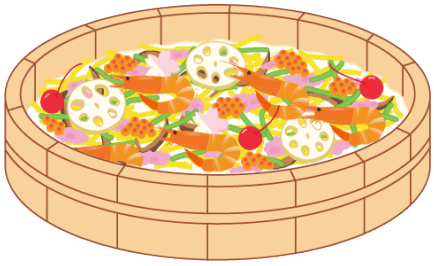
ひしもち…古代中国で食べられていた母子草という草餅が、
日本でよもぎ餅に変わり、
江戸時代に白い餅、明治に桃色の餅が加わりました。
中央の白は雪を表し、下の緑は、雪の下の新芽、新緑大地、
上の桃色は桃の花を表しているといわれています。

ひなあられ…人形をもって野辺に遊びに行き、人形に春の景色を見せる「ひなの国みせ」という風習があり、その折りに持っていったのがひなあられ。
関東ではお米を爆発させて作る「ポン菓子」に色づけし、砂糖で甘く味付けしたものですが、関西では菱餅を砕いて揚げて、塩や砂糖醤油で味付けしたものなのだそうです。

白酒…甘酒とは違います。蒸した餅米にみりんや焼酎、米麹を仕込んで、
熟成させたのが白酒です。東京は千代田区神田の豊島屋さんでは、
江戸時代から受け継いでこられた伝統的な白酒が、
毎年売られています。
昔は、桃が百歳（ももとせ）に通じることから、桃の花を
浮かべた「桃花酒」というのが飲まれていたようです。

蛤のお吸い物…宮中で「貝合わせ」という遊びが行われていました。
蛤の二枚の貝はぴったりと合い、他の貝殻とは絶対に合わないことから、夫婦仲良く円満にいつまでも一緒にという願いが込められています。
江戸時代には豪華な蒔絵や金粉で装飾され、嫁入り道具の一つにもなったそうです。

ちらしずし…ちらし寿司自体に、ひなまつりに食べるという由来はありません。
海老、蓮根、豆など縁起の良い食材を使い、見て美味しく、食べて美味しく、そして将来、食べる物に困らないようにという親の願いがこめられています。



ご家族そろって、楽しいひな祭りの、春うららかなひと時をお過ごし下さい。
子どもたちの、健やかな成長と、幸せをお祈りしています

次回は　2019年 3月20日（水）

お問い合わせ　クリスト・ロア修道院
TEL０４２（４６５）８６２０